

kvSoftKey

Secure By Design

既存のコントローラMCUにソフトウェア
セキュリティモジュールを追加実装可能



デジタル化と無線技術の急速な進展により、AIoT やエッジコンピューティングといった新技術が、世界の産業に変革をもたらしています。企業は、急増するエンドデバイスに対応し、資産とプライバシーを守るため、高度な通信・認証技術に依存せざるを得ません。

kvSoftKey は、SRAM PUF 技術を採用し、MCU 内にソフトウェアセキュリティモジュールを実装。追加ハードウェアなしで、一意かつ信頼性の高いIDをデバイスに付与し、コスト削減と早期市場投入を実現します。IoT、車載チップ、安全通信、暗号資産用ハードウェアウォレットなどに最適。kvSoftKey は、デバイスセキュリティの最適なソリューションです。

kvSoftKey 特徴

- ▶ 各種MCUに対応
- ▶ 既存MCUのSRAMを利用し、信頼の基点ROT (Root of Trust) を生成
- ▶ デバイスごとの鍵を提供
- ▶ SP 800-90B 準拠の乱数生成源を搭載
- ▶ ECC/AES 鍵の生成および演算をサポート
- ▶ アプリケーション鍵の保護が可能
- ▶ 証明書の申請および署名・検証に対応
- ▶ 動作温度範囲:-55~150℃

kvSoftKey 応用

- ▶ ID／鍵の生成
- ▶ ログイン認証の保護
- ▶ デバイス認証 (Attestation)
- ▶ セキュアブート (安全な起動)
- ▶ セキュアアップデート (安全な更新)
- ▶ データ保存の保護
- ▶ データ通信の暗号化

